

平成20年11月28日

浜田市議会議長 牛尾 昭 様









議員名 三浦 保法 

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察をおこなったので、その結果を報告します。

### 記

- 1、期 間 平成20年11月10日～12日
- 2、視察地 京都市北区、京田辺市、奈良県橿原市、広島県三原市
- 3、参加議員氏名

高見 庄平 	牛尾 博美 
小川 泰昭 	西田 平 
中村 建二 	山田 義喜 
鎌原 ヤシエ 	三浦 保法 

4、精算額 一人あたり 46,051円

### 5、調査活動の概要

会派の調査研究活動として京都府、奈良県、広島県において、産業・福祉・教育等の分野について先進地である、4市での取り組み状況や、その成果について調査したのでその結果を別紙のとおり報告します。
--

## 調査活動内容

### 1) 京都市北区

視察日 平成20年11月10日(月曜日)  
視察時間 13:10~14:40  
場 所 京都市北区、京都北山丸太生産協同組合  
出席者 北山丸太生産協同組合 理事 松本 吉弥  
調査目的 北山丸太生産協同組合の事業内容調査と現地視察

#### 【調査内容】

まず、北山丸太生産協同組合の松本理事のあいさつを受けました。現在に至る北山杉の歴史は約600年前にさかのぼり、茶の湯の流行に伴い茶室建築に大いに用いられ、全盛期では80名の組合員構成であったが、現在では43名となり高齢化が進んでいる。また、労賃も安く後継者不足で20代が3名しかいない状況となっている。生産額もかなりの変動があり、最盛期には14億円あったものが住宅、構造、需要等の変化により現在では1.2億円と大幅な落ち込みとなっているとの内容でした。

次に、挿し木から床柱が出来上がるまでの工程をビデオ鑑賞し、質疑の時間をとらせていただきました。

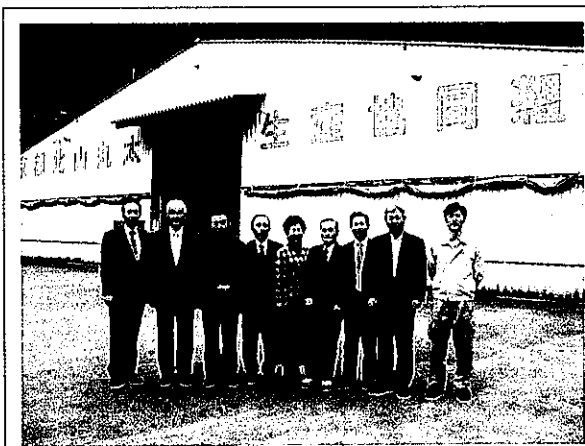
北山杉の床柱用材は植樹し30~35年をかけ、細長くなるように育てるのが北山杉の特徴で、一般の材料との違いは①磨き丸太、②人工しぼり、③天然しぼり(杉自体の遺伝子により凸凹ができるもの)、④杉丸たる木、⑤赤松の皮むき柱、⑥桧を山でむいて倒し、カビをつけ模様を施した柱、⑦こぶしの床の間材、など現在生産されています。

組合員の平均所有面積は10~20haで小規模な人が多く、類似産地は全国で3ヶ所程度あるようです。

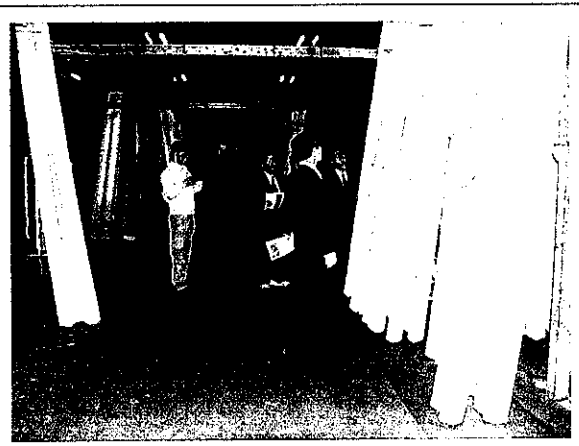
海外への輸出は2年前ぐらいから中国からの問い合わせはあるが話だけで輸出するには至っていない。注文は量が多すぎて国内品の確保ができない。今のところ京都府を通して輸出への話を進めているとのことであった。

## 【感想】

浜田市では島根あさひ社会復帰センターの刑務作業として、森林の整備も考えられているようですので、ぜひ受刑者の出所後の就労支援のための職業訓練プログラムとして活用できないかと思いましたが、木材の成長期間も長く、販路も難しいため当市での取り組みは困難であると感じました。



(北山丸太生産協同組合)



(倉庫内保管状況)

## 2) 京田辺市

視察日 平成20年11月11日(火曜日)

視察時間 9:30~11:30

場 所 大住ふれあいセンター

出席者

出席者 古林和博所長

川北乃里子健康介護課長

調査目的 老人福祉センター・児童館との複合施設の効果と問題点について

## 【調査内容】

併設するにあたっては、核家族化、都市化の進展により、子どもや孫と同居する高齢者の割合が低下しており、子どもが高齢者と日常的にふれ

あつたり、高齢者が豊富な人生経験の中で培った知識、機能や地域の伝統文化などが伝承されたりすることは、ますます困難になっている。そうした中、高齢者と子どもたちとの世代を越えた交流が、活発に行えるような生涯学習の場を提供することを目的に平成17年4月にこの施設が建設されました。

老人福祉センターは高齢者の健康の増進、各種講座等にも力を入れておられ、教養の向上、レクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活が営まれるよう努めておられます。センター内を見学した際には、パソコン教室やカラオケ教室、健康増進ルーム等を利用されている方、そして、グランドゴルフ場では、朝早くから多くの方がゴルフを楽しんでおられました。

同じ敷地内に設置されている児童館は、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操教育を図ることを目的とした施設であるとの説明でした。

遊びや育児サークルなどの活動の場を提供され、親子教室は毎週3日間、開かれています。

複合施設の効果については、子どもと高齢者がふれあう場は、制限されているが、交流を通じて子どもたちの社会性、自主性が身につくことから、効果は大きいと話されました。

また、問題点は、休館日が日曜日と祝日であり、児童館を利用できる曜日等が少ないため、年間を通して高齢者との、ふれあう日が限られていることから、十分な交流ができてないという点を挙げられました。



### 【感想】

浜田市におきましても、少子、高齢化が進展する中、地域の高齢者と子どもたちが共にふれあい、それによって高齢者の生きがい対策や子どもた

ちの健全育成の促進につながるような、異世代交流の場の必要性を感じました。



### 3) <sup>かしはら</sup> 橿原市

視察日 平成20年11月11日(火曜日)

視察時間 13:00~15:30

場 所 橿原市昆虫館

出席者 西川明秀館長

寺田和政議事課長補佐

調査目的 昆虫館を通じた生涯学習の取り組みについて

#### 【調査内容】

「オゾン層の破壊」や「温暖化」など、地球規模の環境破壊が深刻化する現在、地球上の様々な自然や生き物が見直されつつあります。橿原市昆虫館は展示をはじめ、種々の活動を通して「生き物とのふれあい」、「自然の体感」をテーマに平成元年にオープンされました。

館内には、5,000点を越える世界の昆虫標本や化石標本、そして、いつもチョウが舞う、西日本で初めての放蝶温室などによって、楽しみながら見学が出来、学習も出来るようになっています。

特に累代飼育(卵から幼虫、さなぎと飼育)を行っておられることから、幼虫が食べる食草も栽培しておられます。

開設され20年が経過しており、オープン当初は年間10万人の入場者があったが、近年は減少しつつあり、今後については、民間や専門大学との連携を深め、「自然観察会」や「昆虫セミナー」などの事業を推進していきたいとのことでした。

総事業費10億5千万円(用地を除く)。運営費は教育施設ということもあり、年間の人件費を含めた支出が1億2千万円で、収入は観覧料等で2千万円に満たないとのことであった。

色とりどりのチョウがカトレアの花や植物の間を舞う様子は、幻想的で心が癒されます。

#### 【感想】

浜田市は、今年度、三隅町の「ふるさと交流館」に三浦正先生が寄附された昆虫室も設置され、昆虫標本が展示されています。

将来、昆虫標本展示室には多くの市民の方が訪れ、昆虫について学び、理解を深め、生涯学習の場として利活用できるように検討していかなければならないと思います。



#### 4) 三原市

視察日 平成20年11月12日(水曜日)

視察時間 13:00~14:40

場 所 ほんごう子ども図書館

出席者 大畠敏彦館長

吉田全館長

議会事務局 中山主任

調査目的 ほんごう子ども図書館の運営状況及び施設見学

#### 【調査内容】

ほんごう子ども図書館は、それまで子どもに関する施設が無く、子どもたちの憩いの場となる図書館がほしいと言う町民の切実な願いがみのり、2001年7月に JR 山陽本線本郷駅前が開館し、以来一貫して本と子どもの架け橋になるよう、また子供にも大人にも居心地の良い場所となるよう心がけ、人とのふれあいを大切に取り組んでこられました。

施設は杉の香りのするログハウスで、床に座ったり、寝転んだり、自由なスタイルで読書できます。また、読み語り、紙芝居、親子コンサート、作品展など沢山の興隆が生まれています。

建物は町が設立しましたが、運営にかかわる経費やスタッフは住民のボランティアによって支えられています。官民協働で生まれた図書館でありこからの運営方法として注目されています。

運営資金は会を募り一口3千円、団体は1万円、赤い羽根などの助成金によって運営されています。今年度からは完全無給とし、日曜日を休館としています。

現在では平成17年3月に、1市3町が合併し新しい三原市となり、三原市に中央図書館があり、3町にそれぞれ分館があります。

本郷町では合併後200メートル離れた場所に合併後、生涯学習センター

学習棟一階に本郷図書館が建設されています。

ほんごう子ども図書館は合併と同時に、設置及び管理条例が制定され、子ども館として運営されています。

【感想】

ほんごう子ども図書館運営にあたっては無給のボランティアで運営されているが、現館長と前館長は地元で著名な方なので資金面でも協力を求めることができるが、将来の運営に当たっては厳しいところがあるように感じた。

また、三隅自治区において、子ども図書館建設が要望されているが、思いやりや、命の大切さなどに目覚めることができるような、アットホームな図書館となるよう検討していただきたい。



ほんごう子ども図書館



図書室